

ファッションサポーターに 求められるもの



～支援の心構えと視点を知る～

「着たい服を自由に着たい」という気持ちは、生きる力の源の一つです。しかし、身体に障がいのある方々のニーズが個々に異なる状況では、着たい服を自由に着られる環境はいまだ整っていないのが現実です。そこで身体に障がいのある方の衣生活を支援したいと考えている人、また衣生活に関わるボランティア活動をしたいと考えている人を対象に、ファッションサポーターとして必要な心構えと視点を理解するとともに、具体的な事例による課題解決法をワークショップによって体験的に学べる公開講演会を企画しました。



日時 2017年12月16日(土) 12時～16時30分

12時～	受付・展示「身体に障がいのある方を支援する衣服」(自由閲覧)
13時～13時30分	ファッションプレゼンテーション
13時30分～14時10分	講演 1 講師：渡辺 崇史氏 (日本福祉大学 健康科学部福祉工学科 教授) 「ボランティアのための相談援助方法と支援の心構え」
14時10分～14時50分	講演 2 講師：田原 美智子氏 (日本福祉大学 健康科学部リハビリテーション学科 教授) 「ユニバーサルデザインと被服 -新しいアイデアを生む障がい者支援-」
15時10分～16時30分	ワークショップ「グループトーク」 障がいのある方もない方も、気軽におしゃべりしましょう！

会場 金城学院大学 〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目 1723 番地

定員 60名 **参加費** 無料

申込 2017年11月30日(木) 締切

ワークショップの準備の都合上、事前申込とさせていただきます。
学会ホームページより、お申し込みください。メールでのお申し込みは下記にお願いいたします。

◆申込み・問合せ先：平林 由果

金城学院大学 生活環境学部環境デザイン学科
〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目 1723 番地
E-mail: hirabaya@kinjo-u.ac.jp

主催：日本衣服学会

共催：金城学院大学・金城学院ファッション工房